

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 滑川町

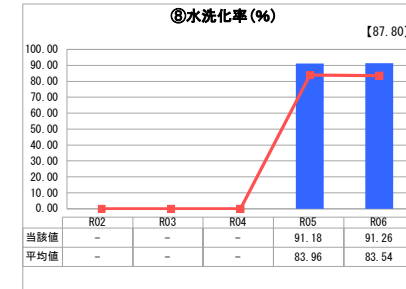
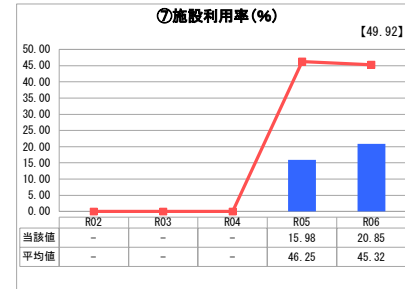
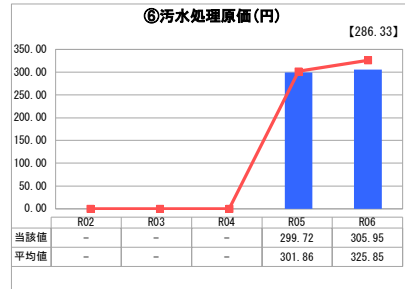
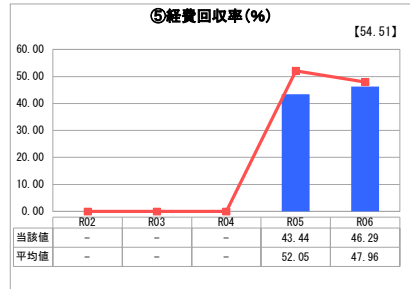
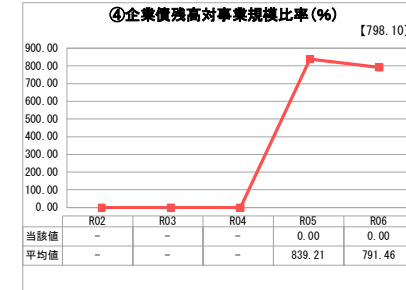
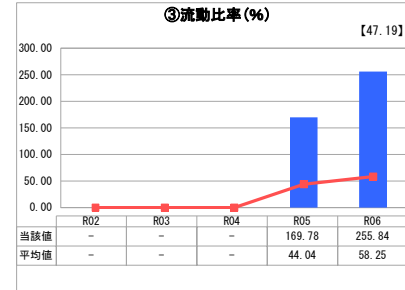
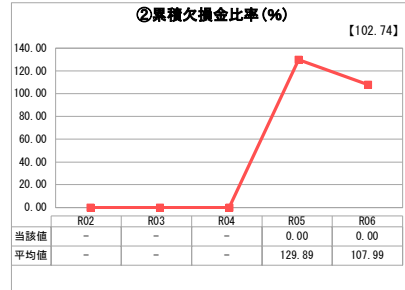
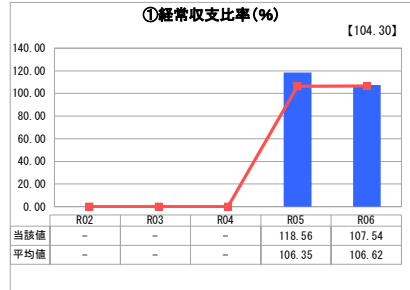
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	76.45	6.83	73.22	2,530

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,757	29.68	665.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,350	0.64	2,109.38

**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

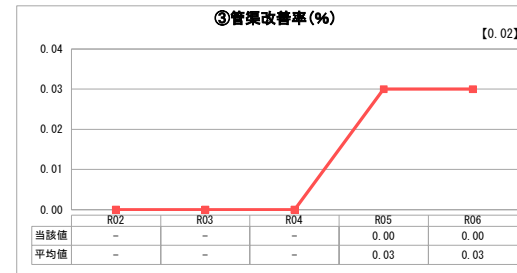
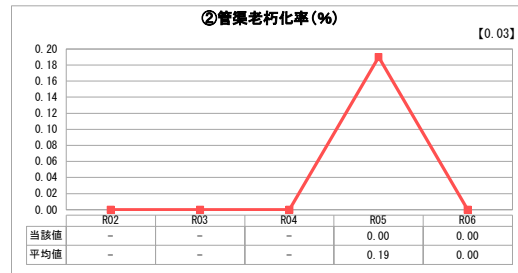
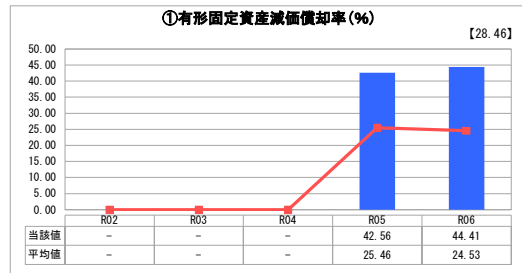
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
前年度と比較し経常収支比率は下がっていますが、100%は超えており、経費を収益で賄えている状況です。しかし、収益の多くは一般会計繰入金となっており、経費削減など経営努力を進め、繰入金に頼らない経営を目指す必要があります。
- ② 累積欠損金比率  
累積欠損金は発生していません。今後も安定した経営に努めます。
- ③ 流動比率  
100%を超えています。企業債の償還は今後も続くため、現金の確保に向けた取り組みが必要です。
- ⑤ 経費回収率  
経費回収率は前年度から上昇したものの、経費を使用料収入だけでは賄えていない状況です。農業集落排水事業区域は人口減少傾向にあるため、有収水量も減少しています。使用料で汚水処理費を賄うため、施設の維持管理経費の削減など安定した経営への取り組みが必要です。
- ⑥ 汚水処理原価  
類似団体平均値とほぼ同様の値ですが、効率的な汚水処理が必要となります。
- ⑦ 施設利用率  
農業集落排水整備区域は人口が減少し、施設利用率は低い水準となっています。
- ⑧ 水洗化率  
水洗化率は高い数値を維持しており、今後も水洗化率の向上のため啓発活動を行っていきます。

### 2. 老朽化の状況について

- ③ 管渠改善率  
平成10年から供用を開始し、管渠の耐用年数は過ぎていないため、管渠の更新は行っていません。そのため管渠改善率0%となっていますが、将来的には管渠の改修、施設の修繕等が必要となるため、限られた財源の中で計画的に更新を行っていく必要があります。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

農業集落排水事業は処理施設の維持管理費、修繕費など経費は増加しており、また今後処理場の大規模改修を行う予定となっています。効率化による維持管理経費の抑制に加え、使用料収入の確保が必要のため、公共下水道と同じく令和8年度から使用料改定を行います。しかし農業集落排水事業区域は人口が減少傾向にあるため、改定後も使用料収入の大きな改善は見込めないため、一層の経営努力が必要です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。